

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 2 月 29 日公表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員に対し、法令の基準を上回るスペースを確保しています。	今後も利用定員とスペースの関係が適切になるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切である	○		現在、児発管 1 名、保育士 2 名、児童指導員 3 名が在籍しており、配置基準以上の適切な人員を配置しています。	今後も適切な職員数の配置を行って参ります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内は、段差を解消し、通路を広くとる等、児童が移動しやすい空間の整備に配慮しています。	今後、家具の配置やスロープの整備等を検討して参ります。
	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		会議には全職員が参加し、現状の把握や振り返り、課題確認を行っています。	今後も何かあった時には、その都度職員全体で話し合い、より良いサービス、より良い支援、業務の改善策について検討して参ります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一回アンケートを配布し、全職員で会議を行い、業務の改善に努めています。	今回も頂いたアンケートをふまえ、保護者様のご意向をもとに、さらにより良い支援ができるように努めて参ります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価の結果は、公式 Web サイトで公開しています。	今後も Web サイトにて公開を行う他、事業所内の見やすい位置に掲示して保護者様にも確認して頂きます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後課題として検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間計画を年度初めに計画し、毎月研修を行い、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も定期的に研修を行い、必要に応じて追加の研修や学習会を実施していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを客観的視点で適切に実施、児童の状態や保護者様のご意向を踏まえて計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえて作成した計画を職員全体の共通理解のもと支援につなげていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所の標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の行動状況を把握しています。	今後も継続して参ります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングにより、全職員で情報を共有し、児童の状態や時刻に合わせたプログラムを立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別活動では個々に必要な課題を提供し、集団活動では季節感を味わい生活体験もできるようにしています。	今後も、児童が意欲的に活動できる内容になるよう、職員間でプログラムを工夫し、検討していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は継続的な学習課題に取り組み、長期休暇には普段の学習課題に加えて長期休暇中の目標を定め、個人に合った取り組み内容にしています。	今後も平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな課題の設定を行い、児童の要望も取り入れ、課題を設定していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の課題に応じた個別活動と集団活動が相乗効果を生むように、両方の視点から支援計画の作成を行っています。	今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案して参ります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングで前日の様子や当日の支援内容を職員間で話し合い、相互確認しています。	更に、職員全員で把握できるよう、連絡ノートに記入し、繰り返し振り返りができるように図っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は送迎があり、打ち合わせが難しいので、翌朝に前日の振り返りを行っています。	前日の振り返りを活かし、打ち合わせでは、成果に結びつくことや、支援が必要な課題を話し合い、次の支援に繋げていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の療育プランを必ず記録として残し、すぐに検証と改善ができるように心がけています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋げます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6 ヶ月以内に必ずモニタリングを行い保護者のニーズと児童の現状を把握し、計画の見直しをしています。	保護者様からの相談があった際には、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		4 種の基本活動を子どもの特性や年齢、季節感も考慮し入れながら組み合わせ支援を行っています。	今後も基本活動を複数組み合わせ、より良い支援を目指して参ります。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も児発管が参加し、支援に活かして参ります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者様や学校と送迎時等の機会に連携し、情報共有を行っています。	今後は場合によっては各関係機関と連携をとり、共通理解のもと支援が統一して行えるよう努めて参ります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れはありません。	現時点では受け入れ態勢は整っておりませんが、今後、医療的ケア児を受け入れることになった場合、関係機関と綿密な打ち合わせ、人員確保や調整等検討して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童が関わっていた教育機関や支援事業所とは綿密に情報共有を行い、相互理解に努めています。	今後も情報共有を行い、児童の課題に向き合い、連携を深めて参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在までに該当する児童がいらない為、情報提供には至っておりません。	該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、連携に努め、児童の移行先での活動に役立てて頂きたいと思います。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携し、情報交換を行い、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も情報共有に努め、連携や研修を通じ、積極的に関わって参ります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域のお祭りに参加し、障がいのない子どもと交流の機会を図っています。	今後は、図書館のおはなし会に参加したり、地域のイベントに参加する等のイベントを計画していきます。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○		今年度は、協議会への参加機会はありませんでした。	今後は研修や講義等に積極的に参加して参ります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やモニタリング時などに保護者様と話し、共通理解が持てるように取り組んでいます。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努め、利用が少なく、なかなかお会いできない保護者様に対しては、今後も必要に応じて電話連絡を行って参ります。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様のお悩みやご相談と一緒に考え、助言し、支援を行っています。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援を行って参ります。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時には保護者の方も分かりやすいように配慮し、説明しています。	引き続き丁寧で分かりやすい説明を心掛けていきます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っている	○		面談時や日々の送迎時等でご相談を受けた際には、保護者様のお気持ちに寄り添いながら、助言を行い支援に繋がっています。	今後も送迎時のみならず、いつでも子育てのお悩みについての助言を続け、保護者様に寄り添う対応を心掛けて参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		本年度は父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	ご家庭によっては他者には通所を秘密にしておきたい場合もあるため、保護者様のご意向に配慮しながら、保護者様同士や職員との交流機会を検討して参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は、すぐに職員で話し合い迅速に対応しています。また、苦情窓口と責任者を配置し意見箱の設置も行っています。	今後とも意見には出来るだけ迅速な対応を行い、必要に応じて家庭訪問等で、早期解決に努めて参ります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式 Web サイトで毎日更新されるブログでは月 1 回事業所の様子をお伝えしています。ブログ更新は LINE@ でお知らせしており、また年 4 回季刊誌を発行しています。	今後も継続して情報の発信を行い、保護者様にその都度ご案内し、より多くの方に活動内容を知っていただけるよう努めてまいります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報が記載された書類の廃棄はシュレッダーを利用し、保管は個人情報ファイルは鍵付きのキャビネットにて保管管理をしています。写真掲載等、個人情報に関する場合には毎回保護者様に確認し、同意を得ています。	個人情報は今後も細心の注意を払い取り扱いや保管を行って参ります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		情報伝達は個人の状況に合わせた対応を十分に配慮を行い、意思疎通を心がけています。	今後も個々の特性を考えながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今年度は行事に地域住民をご招待する企画を行うに至りませんでした。	現在、地域住民の方を招待するような交流は行っていないですが、今後はボランティアに配慮しながら検討していきます。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを作成し、保護者様や職員が見やすい位置に掲示しています。	訓練実施の際には、保護者様に事前連絡と訓練後の報告を徹底していきます。
非常時の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に訓練を行っています。	訓練後には職員の動きや子供の様子など改善点を話し合い、次の訓練に繋げていきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待に関する職員研修を行っています。	今後とも社内外への虐待防止研修や討議を続けて参ります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現時点で該当者はいませんが、利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するため必要にやむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ることにしています。	拘束の可能性が有る児童を受け入れることになった場合、原則として、身体拘束を避ける基本姿勢を守り、保護者様には緊急時、命に関わる事象が起きた場合、他に手段がない止むを得ない状況の場合に限って行われることを十分に説明を行い、同意を得て個別支援計画にも記載して参ります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーについては保護者様から十分に聞き取り、室内の伝言板にも記載し、全職員の周知徹底に努めています。	食物によるアレルギー発作を決して起こすことのないよう今後も細心の注意を払い、慎重に対応して参ります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員全員で情報を共有しています。	今後も継続して記録の徹底を行い、情報共有・認識一致の上、再発防止に向け、都度振り返りを心掛けて参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。